

2015年  
10/3(土)~11/23(月・祝)

休館日 月曜日(10/12、11/23は開館)  
開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

編集委員 山折哲雄

観覧料

一般 600円(400円)  
65歳以上 300円(200円)  
20歳未満及び学生 300円(200円)  
高校生 100円  
中学生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金  
※東日本大震災の罹災証明書、被災証明書等の提示で観覧無料

主催

県立神奈川近代文学館  
公益財団法人神奈川文学振興会

協力

飯田市美術博物館  
成城大学民俗学研究所  
遠野市立博物館  
福崎町教育委員会

後援

NHK 横浜放送局  
FMヨコハマ  
神奈川新聞社  
+vkc

協賛

KADOKAWA  
筑摩書房  
京浜急行電鉄  
相模鉄道  
東京急行電鉄  
神奈川近代文学館を支援する会

広報協力

KAAT 神奈川芸術劇場

生誕  
140年

柳田國男展

横浜・山手 港の見える丘公園内  
県立神奈川近代文学館

〒231-0862 横浜市中区山手町110

☎045-622-6666

<http://www.kanabun.or.jp>

東急東横線直通みなとみらい線  
元町・中華街駅 6番出口 徒歩10分

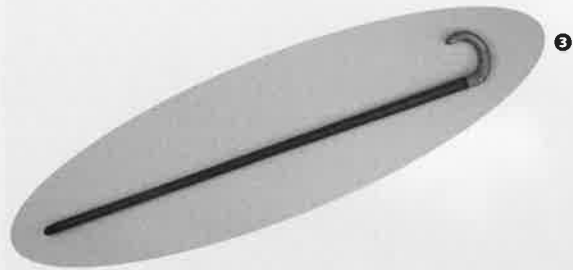
日本人を戦慄せしめよ  
——「遠野物語」から「海上の道」まで



②



①



③

① 田山花袋あて絵はがき 1908年(明治41)7月31日 同年5月27日から同日までの九州、四国旅行の詳細な日程を知らせたもの。この旅での体験から柳田の民俗学の出発点といわれる著書『後狩詞記』が生まれた。田山花袋記念文学館蔵

② 「生れる言葉」原稿 「赤とんぼ」1946年(昭和21)8月号に掲載 「自分」をあらわす代名詞をめぐる考察。言葉の由来を知り、正しい言葉を選ぶことによって「未来の国語の美しさ」を作るよう、次代を担う子どもたちへ呼びかけた。当館蔵・藤田圭雄文庫

③ 愛用のステッキ 非常に健脚だった柳田は、晩年まで散歩が日課だったという。個人蔵

本展記念イベント

① 講演会  
10月17日(土) 14:00～ Lコード=37852  
「ほとんど遺言といってもよいでしょう(柳田国男の)声のトーンをめぐって」 講師:吉増剛造(詩人)

10月31日(土) 14:00～ Lコード=35772  
「柳田国男さんの魅力ー 一童児のように歌い、翁のように語るー」 講師:山所哲雄(宗教学者、評論家、本展編集委員)

11月7日(土) 14:00～ Lコード=37854  
「柳田国男の視点」 講師:京極夏彦(小説家、意匠家)

会場:展示館2階ホール(各日定員220名)  
各日一般1,000円(友の会会員800円)  
※チケットは、当館ミュージアムショップ窓口(来館)、郵便振替、ローソン・ミニストップ店頭Loppi(Lコード)で販売。定員になり次第、販売を終了します。

② 遠野ことばで聴く「遠野ものがたり」  
10月11日(日)、11月21日(土) 各日13:30～15:00～  
出演:大平悦子(語り部、日本民謡の会会員)  
会場:展示館2階中会議室(各回定員60名)  
参加無料 当日先着順(各日12:00～整理券配布)

③ ギャラリートーク  
会期中毎週金曜日 14:00～ 参加無料(要展示観覧料)  
会場:展示館1階エントランスホール

生誕140年 柳田国男展 日本人と戦慄せしめよ  
——「遠野物語」から「海上の道」まで

本年は、日本民俗学の創始者・柳田国男(一八七五～一九六二)の、生誕140年の節目の年となります。

若き日、文学に親しみ、抒情詩人として高い評価を得るものの、柳田は文学者としての道を選ばず、幼少時に体験した飢饉などの社会問題に立ち向かうため官僚を志しました。全国の山村を視察するなかで、その土地に根ざし、育まれた文化や風習に触れ、やがて民俗学という新しい学問を体系化していくこととなります。一九一〇年(明治四十三)に刊行した『遠野物語』は、岩手県遠野に伝わる説話などを記録したのですが、その詩情にみちた文章から文学作品としての評価も高く、時代を超え、今も広く読み継がれています。

柳田の思考の根底には、常に貧困や差別などを内包する社会への問題意識がありました。それは、現代社会が抱える課題にも通じ、その時どきに発せられた柳田の言葉は、今を生きる我々にも大きな示唆を与えます。

本展では、柳田民俗学の出発点ともなった原体験から、日本人の源流を考究した最晩年の著「海上の道」へと至る八十七年の生涯を概観するとともに、幅広い読書経験、深い学識に支えられた著作の魅力を探り、その現代性を見つめ直します。

ACCESS GUIDE

<東急東横線直通「みなとみらい線」>  
元町・中華街駅下車 6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分  
<JR根岸線>  
石川町駅下車 元町口(南口)から徒歩20分  
<バス> いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分  
神奈川中央交通の系:桜木町駅ー保土ヶ谷駅  
横浜市営バス0系:桜木町駅ー山手駅  
観光スポット周遊バス「あかいくつ」:桜木町駅ー港の見える丘公園前(中華街・元町ルート)  
\*駐車場がありませんので、公共の交通機関等をご利用下さい。



鮮やかな和柄カバー、読みやすい新組、第一級の執筆者による新解説  
角川ソフィア文庫 × 柳田国男



日本民俗学の金字塔「遠野物語」をはじめ、「雪国の春」「妖怪談義」「日本の昔話」「先祖の話」「海上の道」ほか、全19タイトル!!

KADOKAWA 発行 株式会社 KADOKAWA 〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 TEL 03-3238-8521 http://www.kadokawa.co.jp/

すべての著作を収録する、初めての決定版全集

柳田国男全集

全36巻・別巻2(既刊1~35巻)

未発表原稿や文学作品、膨大な数の書簡や日記までを可能な限り収録。詳細な総索引の他に、単行本タイトル・章題の著作索引や詳細年譜などを別巻にまとめる。

筑摩書房 東京都台東区蔵前2-5-3 サービスセンター TEL 048-651-0053 http://www.chikumashobo.co.jp/

表面:柳田国男肖像/遠野市風景 裏面:遠野市土淵町・デンデラ野(「遠野物語」棄老伝説の地)